【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

学年		第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	第７学年	第８学年	第９学年
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・梼原町のいいところや〇〇名人について調べ、紹介する。 ① 社会科の授業と関連させて地図に表す。(地図の表し方を生かす。) ② フィールドワークやインタビューなど、調査技能を学ぶ。 ③ プレゼンテーションソフトを活用して、いいところを紹介するプレゼンテーションを作成する。 （ICT 機器の活用）	・社会科の学習と関連し森林役割や河川の美化に努める地域住民の取組を学ぶ。 ・水の大切さを知るとともに、梼原川をどんな川にしたいかを考える。 ・社会科見学と関連し、再生エネルギーと風力発電について学ぶ。 ・梼原の自然や文化を守る活動に取り組んでいる人から話を聞き、自分達にできることを考える。 ・インタビューを通して、これまでの自分自身の成長をふり返る。 ・家族や周りの人々に感謝の気持ちを伝える。 ・２分の１成人式の企画や運営をする。	・4 年での社会科見学と関連し自然エネルギーの利用について学習する。 ①地域の取り組みを学ぶ。 ・太陽光発電 ・小水力発電・風力（家庭科「工夫しよう快適なすまい」と関連） ②森林エネルギーの作られ方について教えてもらおう。 ・ペレットストーブ ・森林組合と連携 ③自分たちでできるエコ活動について学ぶ（ＩＣＴ機器の活用） ・６年生での修学旅行に向けての平和学習。(ＩＣＴ機器の活用)	・千枚田や棚田の歴史を学ぶ。 ・5 年生社会科の産業学習と関連づけて米の品種について調べる。 ・米作の一年間の流れを理解する。 ・稲作の体験学習をする。 ・和紙の歴史や種類を知る。 ・和紙の製造工程を知り、体験する。 ・卒業証書作りをする。 ・6 年社会科の歴史学習と結びつけて、郷土の偉人　六志士について調べて自分なりの考えをもつ。	・茶堂文化の学習や、町内の茶堂巡りや茶堂体験を通して、梼原町の「もてなしの心」について理解する ・高齢者疑似体験学習を通して、町の福祉活動や高齢者の特性について理解し、高齢者との関わり方のスキルを身に付ける ・職業インタビューと発表などの職場体験事前学習を通して、職業や働くことの意義について理解する ・立志式の取組を通して、目標を持って生きていこうとする姿勢や態度を身に付ける	・職業体験学習を通し、仕事をやる大変さや喜びを実感することにより、自分の将来の進路選択の一助とする。 ・進路学習の高校調べ等を通し、自分の具体的な進路決定につなげる。 ・修学旅行の事前学習で、旅行の目的や意義を学ぶことにより、３年時の活動への意識づけをする。	・地域外（修学旅行先）の文化・環境等を調べ、体験する中で、梼原の良さや願いが分かる。 ・地域の伝統芸能等を学ぶ中で確かな技能と思いが分かる。 ・夢の実現に向けてしっかり進路選択の知識を入れて選ぶ。
	思考力，判断力，表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて，活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。 ・解決の方法や手順を考え，見通しをもって計画を立てている。					
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し，情報を収集し適切な方法で蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から，必要な情報を取捨選択している。					
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し，分類して多様な情報にある特徴を見付けている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え，視点を定めて多様な情報を分析している。					
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ，相手や目的，意図に応じて論理的に表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。					
		振り返り	・学習の仕方や進め方を振り返り，学習や生活に生かそうとしている。 ・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り，次の活動に生かそうとしている。					
	学びに向かう力，人間性等	主体性	・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。					
		協働性	・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。					
		自己理解	・探究的な活動を通して，自分の生活及び地域との関わりを見直し，自分の特徴やよさを理解しようとしている。					
		他者理解	・探究的な活動を通して，異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。					
		社会参画	・探究的な活動を通して，進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに，積極的に地域の活動に参加しようとしている。					

【学習活動】
- 地域の実態，児童・生徒の実態を踏まえ，探究課題を設定する。
- 地域の人，もの，ことを生かした学習活動を行う。
- 学習成果を表現する場として報告会や音楽祭等を活用する。

【指導方法】
- 児童・生徒の課題意識を連続，発展させる支援と工夫を行う。
- 個に応じた指導の工夫を行う。
- 体験活動を重視する。
- 各教科等との関連を重視した指導を行う。
- 言語により整理分析したり，まとめ表現する学習を重視する。
- 協働的な学習を充実させるため，思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】
- 全校指導体制を組織する。
- 運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
- ワークショップ研修を重視する。
- メディアセンターや余裕教室の整備・充実を図る。
- 地域の教育資源をデータ化するとともに，学校応援団等と協同し、日常的な関わりを行う。

【学習評価】
- ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。
- 観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
- 個人内評価を重視する。
- 指導と評価の一体化を充実する。
- 授業分析による学習指導の評価を重視する。
- 学期・学年末に指導計画を評価・改善し，次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

各教科等	道徳教育	特別活動
・学ぶ意欲と傾聴する力の向上 ・探究的な学びの素地を養う ・協働的な学習場面の設定 ・わかる授業，活気のある授業の展開 ・知識及び技能の確実な習得と活用	・道徳科の時間を要として，思いやる心を育む ・指導の重点項目 「真理の探究，創造」 「思いやり，感謝」 「社会参画，公共の精神」 「相互理解，寛容」	・集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。 ・合意形成や意思決定できるようにする。 ・役割を分担して協力して実践する。